

交通事故防止

外販課 吉澤 宏和

いつもご愛読ありがとうございます。今回の内容は、交通事故について想いを綴らせていただきます。

原稿を書いている最中、**亀山の新名神で大型トラックが渋滞中の乗用車へ追突し、子供3名を含む6名が犠牲となる事故のニュース**が入ってきました。

その後、**トラックの運転手によるスマホを見ていた『ながら運転』が前方不注意による事故の原因**となりました（4月9日現在）。

関西方面への観光を楽しみにしていた家族。突然奪われました。何が起こったか理解する間もなく・・・とても残念です。胸が引き裂かれる思いです。

十数年前、私の父親も交通事故で他界しました。

父の事故をきっかけに、交通事故への考え方は強くなったつもりでしたが、その想いも日に日に薄れているように感じていました。私は移動の為、運転する機会が多い業務です。あの時の辛い気持ちを、常に意識して運転しなければならないと再認識した今回のニュースでした。

街中でも確かにスマホの『ながら運転』は見かける事は多くあります。私自身も、この事故をきっかけに交通事故を起こさない為への想いは強くなりました。

車も、自動ブレーキなど事故防止の装備が強化され、進化を続けています。しかし、操作するのは人間ですので、注意力は必要です。

交通法も改正が繰り返され、新たな法が追加されてます。

例えば、『**横断歩道**』**渡る人もしくは渡ろうとしている人がいれば、完全に停止しなければなりません。**

長い直線で気持ちよく走れそうな道路であっても、車道にある横断歩道は歩道であり、歩行者優先であり、歩行者の聖域である事を強く意識しなければなりません。

他、特に意識しているのが、他府県ナンバーの車、初心者、高齢者の運転です。

私も他府県へ移動した時、他のドライバーへ迷惑をかけてしまったと反省する事があります。知らない道路は特に注意が必要です。

また以前は私も初心者ドライバーで、いずれ高齢者ドライバーになる可能性もあります。

三重県は事故が多い県ですので、これを読んでいただいた方へ、少し運転中の意識開拓へ繋がれば幸いです。では、本日もご安全に！

アポ新聞

梅雨こそ活用！ 浴室暖房乾燥機でカビを防ぐ お風呂掃除術

ホームガス課 森田 裕樹

梅雨の時期になると、気温と湿度が上がり、浴室のカビやヌメリに悩まされるご家庭が増えてきます。毎日使う場所だからこそ、清潔に保ちたいと思っても、「掃除してもすぐカビが出る」と感じている方も多いのではないのでしょうか。

実はこの時期の浴室環境は、カビにとって非常に好条件が揃っています。湿気がこもりやすく、壁や床に水滴が残り、さらに換気が不十分になることで、カビが繁殖しやすい状態が続いてしまいます。つまり、梅雨の浴室対策で重要なのは「いかに早く乾かすか」がポイントになります。

そこで活躍するのが「浴室暖房乾燥機」です。普段は冬場の暖房や、洗濯物の乾燥に使われることが多い機器ですが、実は梅雨時期のカビ対策にも非常に効果的です。掃除の仕上げに乾燥運転を取り入れることで、浴室内の水分をしっかりと取り除き、カビの発生を抑えることができます。

効果的なお風呂掃除の流れとしては、まず入浴後に浴槽や床、壁をシャワーで軽く洗い流します。このとき、最後に冷たい水をかけることで温度を下げ、カビの繁殖を抑える効果も期待できます。その後、水滴をできるだけ流し、ドアや窓を開けて湿気を外に逃がします。ここで終わるのではなく、最後に浴室暖房乾燥機の「乾燥運転」を1～2時間程度行うことで、浴室内をしっかりと乾かすことが重要です。

この「掃除＋乾燥」の習慣を続けることで、カビの発生を大幅に減らすことができます。また、イヤなニオイの防止にもつながり、日々の掃除の負担軽減にも効果があります。

さらに、浴室暖房乾燥機をより効果的に使うためには、定期的なお手入れも欠かせません。特にフィルター部分にホコリが溜まっていると、風量が落ちて乾燥効率が低下してしまいます。月に1回程度を目安に、フィルターの掃除を行うことで、機器本来の性能を維持することができます。

梅雨の時期は洗濯物が乾きにくく、部屋干しによる湿気も気になる季節ですが、浴室暖房乾燥機を活用すれば、浴室乾燥と洗濯乾燥を兼ねて効率よく使うことも可能です。日常生活の中で上手に取り入れることで、快適な住環境づくりに役立ちます。

梅雨のカビ対策は、「こまめな掃除」と「しっかり乾燥」が鍵です。今年の梅雨は、浴室暖房乾燥機を上手に活用し、清潔で快適な浴室環境を保っていきましょう。